

(様式2)

3. 事後評価の実施

(1) 実施時期

令和6年10月11日 評価結果を決定

(2) 評価の方法

本市教育委員会事務局内において、事後評価を実施

4. 総合的な所見

施設整備計画の目標については、対象校のバリアフリー化、トイレ改修、LED化整備、全てを達成することができた。
これにより、学習環境の質的な向上において大きな効果をあげることができた。

5. 各目標の達成状況

(1) 老朽化対策を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

(2) 新時代の学びを支える安全・安心な教育環境の確保を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

(3) 教室不足の解消等を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

(4) 教育環境の質的な向上を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

小学校1校の屋内運動場について、障害を有する児童や教職員、災害時に避難場所とされた場合に障害者等が円滑に学校施設を使用できるよう多機能トイレやスロープを設置し、学校環境の向上を図ることができた。

災害時に避難所としても活用される学校の校舎(小学校2校、中学校1校)及び屋内運動場(小学校8校、中学校4校)のトイレの老朽化に伴い、洋式化やバリアフリー化、臭気対策や給排水管の更新等の改修工事を実施し、学校環境の向上を図ることができた。

また、小学校24校、中学校11校の屋内運動場及び武道場について、老朽化した既存照明のLED化を実施し、二酸化炭素の排出削減及び光熱費等の維持管理費の縮減を図ることができた。

(5) 施設の特性に配慮した教育環境の充実を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

6. 改築後の危険建物等のとりこわし状況